

カブトムシの幼虫、とったど〜！ 体験さつま作り教室と幼虫キット作り

6月2日(土)、親子約50組が旧島田家住宅前(上富)に集結し、さつま作りとカブトムシの幼虫養成キット作りを行いました。ペットボトルを切り取り、土を入れ、その中に、堆肥から探り当てた幼虫を手に取り、手作りキットのなかに入れていました。親子で楽しみながらキット作り、幼虫探しに夢中になっていました。自然あふれる



↑堆肥の中から幼虫を探り当て、ご満悦。

そばのおいしい秘訣を教えます



↑説明を聞く視察に来た皆さん

「なぜ“みよしのそば”は台風の影響も受けずに、大量のそばを収穫できるのか？また、大変おいしいのはなぜだろう。」と疑問を持った大分県のそば農家の皆さんが5月23日(休)、町(北永井・船津さん所有の畑)へ視察に訪れました。苗付け前、土をならす時にコツがあり、風通しがよくなるように工夫をしているそうです。

いつまでも元気に、みんなで楽しく



↑自分のペースで楽しく体操

いつまでも元気に生活できるように、加齢で衰えやすい筋力を維持・向上できるように体操をする「いもっこ体操」が5月30日(休)、総合体育館で行われました。この日は120人が集まり、ゆっくりとした運動で、楽しみながら体操を満喫。この事業は、ボランティアの皆さんの協力で行われています。

13部門中、10部門を独占！



↑優勝を決めた一瞬の瞬間

6月3日(日)、総合体育館で第35回東入間剣道大会が行われ、約200人が集まりました。13部門に分かれて行われ、三芳町剣道連盟、三芳中学校の皆さんが、合わせて10部門で優勝を果たしました。三芳町剣道の底力を見せつけました。(写真は小学5年生以下の部門で男女混合のなか優勝した「松本花音(かのん)」さん)

ボールはソフト、動きはハード



↑本物のバレーさながらの動き

5月27日(日)、総合体育館でソフトバレーボール大会が行われ、男女混合9チーム、女子の部7チーム、総勢87人が集まりました。普通のバレーボールで使用されるボールよりも弾力のあるボールを使用し、幅広い層の人が参加できるように工夫されています。ボールはソフトでも動きはハード。皆さん全力で試合を楽しみました。

↓観賞する三芳中学校の生徒たち。日食中はあたりが薄暗くなりました。



神秘の天体ショー 金環日食観賞会



←金環日食の様子。

5月21日(月)、埼玉では173年ぶりに金環日食を見ることができました。この日は早朝から空を見上げる姿が各所で見られました。町内の中学校では登校時間を早め、神秘の天体ショーを生徒たちは体験。読売新聞から提供された観察用グラスを手に、生徒たちは自然が作り出す神秘の時間を楽しみました。次に埼玉で見ることができるのは300年後です。

町で行われたイベントや活動をお届けします！広報に掲載された人で希望者には、写真を差し上げますので、政策秘書室にご連絡ください。
【問い合わせ】政策秘書室秘書広報係 ☎049-258-0019(内線314)



こぶしの里でホテルを資料館で古民家劇場を こぶしの里ホテル観賞

6月上旬からこぶしの里を大勢の人がホテル観賞に訪れました。6月10日(日)には1,300人が来場。また、歴史民俗資料館で行われた古民家劇場では朗読会、影絵、オカリナ演奏を行い、観賞前のひとときを楽しんでいました。



(写真上) 沢に集まったホタル。(写真左上・右下) オカリナと影絵を総勢約400人が満喫。(写真左下) いろいろ楽しむ朗読会。147人の皆さんが来場。(写真中央) 期間限定で旧池上家をライトアップ。

町をきれいに、3,228人の思い ごみゼロの日クリーン三芳町民運動

町内各所でいっせいに、ごみ清掃を行う「ごみゼロの日クリーン三芳町民運動」が5月27日(日)に行われました。親子でこの運動に参加する姿が多くみられ、合計3,228人の住民の皆さんが参加しました。また、この運動に賛同する業者の方々にゴミ搬入用のトラック35台を用意していただきました。



↑小さな手でおおきなゴミを3人でトラックまで運んでくれました。

↓高橋尚己さん(上富)のさつまいも畑で農業体験を楽しむ子どもたち。



約束だよ。秋にまた会おうね！ 農家児童交換農業体験学習会

6月2日(土)、2市1町の子どもたちが農業体験をする「農家児童交換農業体験学習会」が行われました。三芳町には水田がないため、町内の子どもは町外で稲付けを、町外の子どもたちは三芳町でさつまいも苗の植え付けを行いました。さつまいもの苗を一人10本ずつ植え、秋の収穫時に自分が植えた苗が「いも」になって出会うことを楽しみにしていました。